

移動等円滑化取組計画書

令和元年12月4日

住 所 佐賀県佐賀市愛敬町4番23号
事業者名 佐賀市交通局
代表者名 佐賀市自動車運送事業管理者
志 満 篤 典

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行規則第6の6の規定に基づき、次のとおり公表します。

I 現状の課題及び中期的な対応方針

(1) 車両等の整備に関する事項

- 当交通局が保有する乗合バス車両においては、2018年度末時点のノンステップバス導入率は83.3%になっている（適用除外車両を除く）。こうした現状を踏まえ、車両の更新（適用除外車両を除く）については、今後すべてノンステップバスとし、2021年度までにノンステップバス導入率を100%とする（適用除外車両を除く）。

(2) 旅客支援、情報提供、教育訓練に関する事項

- 交通系ICカードを2017年2月に導入し、IC乗継割引（2017年10月）やIC定期券（2018年3月）、中高生フリーIC定期券の商品化（2018年4月）などを実施している。今後も、ICカードの特性を活かしたサービスの充実化を図る。
- 2018年にモニターを公募し、5人のモニターから利用者目線での様々な意見を得た。今後も定期的にモニター制度を実施しサービス改善に努める。

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
ノンステップバス	<ul style="list-style-type: none">中型ノンステップバス（新車）を各年度3台ずつ導入する。（2019～2021年度）小型ノンステップバス（中古車）を2019年度2台、2020年度1台、2021年度1台導入する。

② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
ノンステップバスの利用方法の周知	<ul style="list-style-type: none">NPO法人が作成した「ノンステップバスの乗り方ガイド」（佐賀市交通局監修）を窓口等で配布し、車椅子利用者が抵抗なくバスを利用できることを周知する。

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
バスの乗り方教室の実施	・老人クラブや地域の自治会等、主に高齢者を対象とした乗り方教室を各年度2回実施する。(2019～2021年度)

④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
乗務員の技術向上	・職員研修を毎年度実施し、車椅子利用者を初めとしたバス利用者への接客接遇の向上に努める。(2019～2021年度)

III 移動等円滑化の促進のためⅡと併せて講ずべき措置

<ul style="list-style-type: none"> ・バス停留所に上屋を2019年度に5基、2020年度と2021年度は4基ずつ整備する。 ・バス停留所の再点検を実施し、障害物や縁石を一部取り除くなど利用環境の整備に取り組む。 ・佐賀駅バスセンター等でのバスロケーションシステムを活用したデジタルサイネージの充実化を図る。 ・メールや電話等で寄せられる意見を、必要に応じて、交通局施設内の掲示板に貼り出し職員全体での情報の共有化を図りサービス等の改善に努める。 ・総務課をバリアフリーの主管課とし、交通局としての推進体制を構築する。
--

IV 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由

V その他計画に関連する事項

<p>中期的な対応方針に記載された事項については、当交通局の経営計画に位置づけられている。</p>

注1 IVには、Ⅱについて前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。

2 Vには、Ⅱの欄に記入した計画に関連する計画（事業者全体に関連するプロジェクト、経営計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における該当事業者の位置付け等について